

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 2 3

開催地：五木村宮園地区

平成 19 年 8 月 31 日（金）、五木村宮園地区（会場：五木村北公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約 40 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

村内	32 名
村外	4 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然木なら保水力もあると思うが、人工林は倒れているのが多く保水力がなくなっているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しているところです。 仮に森林の洪水緩和機能が著しく低下すれば治水計画にも影響することから、関係機関等が連携して、森林の保全に努めていく必要があると考えています。 河川事業においても、間伐材の利用を促進するなど、出来ることから取り組んでいきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・シカによる被害で草本類、低木類がなくなったことにより、保水力がなくなり、さらに山の土砂流出も多い。基本高水流量については、水だけではなく土砂流出によっても増えるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しているところです。 鹿の食害等により森林の状況が著しく変化すれば、森林の洪水緩和機能の低下や土砂流出も考えられることから、関係機関等が連携して、森林の保全に努めていく必要があると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・最近の雨では、短時間に降ってもすぐに濁って川へ出てくるため、保水力がないということがわかる。短時間で降った雨が川へすぐに出てくるような状況になっていることへの対策を検討しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しているところです。 仮に森林の洪水緩和機能が著しく低下すれば治水計画にも影響することから、関係機関等が連携して、森林の保全に努めていく必要があると考えています。 また、集中豪雨などによる急激な水位上昇に対応するため、迅速かつ的確な情報伝達体制を市町村と連携して構築していく必要があると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・人吉地点で 7,000m³/s を流すには、河床掘削でどのくらい掘削するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を含む自然的及び社会的制約の中で、河道掘削に加え、引堤や嵩上げ等の方法を組合せて、河道でどれだけの流量を安全に流し得るかという検討を実施した結果、人吉地点の計画高水流量を 4,000m³/s としています。 仮に人吉地点で 7,000m³/s を安全に流すためには、更に 2m 以

	<p>上の大規模な河床掘削が必要となり、人吉層と呼ばれる軟岩層が一気に露出することが想定されます。その結果、例えば環境面では、瀬・淵の消失などにより河川環境が著しく悪化し、舟下りの運行や鮎などの魚類等の生息環境への影響が懸念されるなど、地域社会や自然環境に対して重大な影響を与える恐れがあると考えています。</p>
<p>・基本高水流量は、球磨川流域にどのくらいの雨量が降ったら7,000m³/sになるのか。</p>	<p>・80年に1回の確率で発生する降雨量である、降り続けている状態の一連の雨のうち一番強く降っている12時間の雨量が人吉地点上流域平均で262mmとなった場合、ご指摘の基本高水流量が生じると考えています。</p> <p>なお、河川の流量は降った雨の総量だけで決まるわけではなく、どのような時間的変化をもって降ったかによって変わります。基本高水のピーク流量の算定にあたっては、このことを踏まえ、流域で過去に実際に降った様々な降り方の雨を用いて検討を行いました。</p>
<p>・今後、地球温暖化による洪水が多く発生するのではないか。このことを考慮して7,000m³/sを決めたのか。</p>	<p>・基本高水のピーク流量7,000m³/sは温暖化等による今後の気候変動を考慮したものではなく、これまで実際に流域で降った雨を元に検討したものです。</p> <p>今後、地球温暖化に伴う気候変動、森林の保水力等に関する新たな知見により、基本高水のピーク流量算出の前提条件が著しく変化することが明らかとなった場合には、必要に応じて基本方針の内容を見直すこととしており、この旨、基本方針にも明記されています。</p>
<p>・川辺川の計画高水流量1,500m³/sは、どのくらいの雨量が降った場合の流量か。</p>	<p>・人吉における基本高水のピーク流量7,000m³/sとなる時の計画降雨量262mmとなります。</p>
<p>・下流の人達は、本当ならダムを造ってくれというところだと思うが、ダム問題に反対しているのは、国が納得いく説明をしていないのではないか。</p> <p>・今年の出水は、雨量が多く川底は下がった。そういう関係で保水力がないと十分いえる。</p>	<p>・ご指摘も踏まえ、今後とも、地域とのコミュニケーションに努めていきたいと思っております。</p> <p>・基本高水のピーク流量等の治水計画は、森林の存在を前提としていることから、治水上、我々河川管理者としても森林の保全は重要であると認識しています。</p> <p>仮に森林の洪水緩和機能が著しく低下すれば治水計画にも影響することから、関係機関等が連携して、森林の保全に努めていく必要があると考えています。</p>
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <p>・説明を聞いて、宮崎で降った雨が、もう少しずれて球磨川で降っていたら大変なことになる。治水計画上、国土交通省はダムが必要だということがわかっているなら、河川整備計画を早く策定してほしい。また、いつになったらダムができるのかを示してもらいたい。</p>	<p>・できる限り早期に河川整備計画を策定し、皆様にもお示しできるように努力していきたいと考えています。なお、川辺川ダムについては、河川整備計画を作成する際に、取り扱いが検討されることとなりますので、現在の段階で、川辺川ダムの完成時期についてお示しできる状況にはないことについてご理解下さい。</p>
<p>【その他】</p> <p>・この地域も4年連続して国道は決壊、通行止め、そして避難し</p>	<p>・いただいたご意見は、川辺川のご指摘があった箇所を管理して</p>

<p>ている。下流域の生命財産を守ることは大事だが、この地域の ことを守ることも考えてもらいたい。</p>	<p>いる熊本県にもしっかりとお伝えしました。</p>
<p>・五木村はダムができる予定で多くの人が出ていき、人口が 6,000 人から 1,500 人に減っている。ダムが出来ないのであれば、早 く元の人口に戻してもらいたい。</p>	<p>・苦渋の選択をなされた五木村の方々には、ご心配ご迷惑をおか けしており大変申し訳ありません。 川辺川ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際に、 取り扱いを検討していくこととなりますので、できるだけ早く 皆様にご説明できるよう努力していきたいと考えています。</p>
<p>・報告会は十分に時間をとって意見を述べる機会をつくってほし い。</p>	<p>・報告会は、出来る限り多くの方にご意見いただけるよう努めて おりますので、ご理解いただければと思います。今後とも様々 な機会を捉えつつ、国として説明責任を果たしてまいりたいと 考えています。</p>

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。